

かめやま教育通信

第46回



「生きる力 学びの、その先へ」新しい学習指導要領スタート

幼稚園：2018年度～ 小学校：2020年度～ 中学校：2021年度～ 高等学校：2022年度～

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を共に創っていきたい。新しい「学習指導要領」には、そうした願いが込められています。

「学習指導要領」とは

全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。およそ10年に一度改訂され、これを基に子どもたちの教科書や時間割が作られます。



子どもたちの学びはどう進化するの？

主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）

「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」をこれまで以上に重視します。

「分かった」「面白い」と
思える授業に

周りの人たちと共に考え、学び、新しい
発見や豊かな発想が生まれる授業に



見通しを持って、粘り強く
取り組む力が身に付く授業に

自分の学びを振り返り、次の学びや
生活に生かす力を育む授業に

社会に出てからも
学校で学んだことを生かせるよう、
三つの力をバランスよく育みます。

学んだことを
人生や社会に
生かそうとする力

**学びに向かう力、
人間性など**

実際の社会や
生活で生きて働く力

知識および技能

未知の状況にも
対応できる力

**思考力、判断力、
表現力など**

カリキュラム・マネジメント

それぞれの学校の特色を生かして、教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ります。



学校教育の効果を常に
検証して改善する

複数の教科等の連携を
図りながら授業する

地域と連携し、より良い
学校教育を目指す

新たに取り組むこと、重視することは？

- ・プログラミング教育…コンピュータがプログラムによって動き、社会で活用されていることを体験する学習の充実
 - ・外国語教育…「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」を充実
 - ・言語活動の充実…国語科を中心に、各教科等で説明や討論などの子どもたちの言葉の力を育む学習を充実
 - ・道徳教育…「考え、議論する」授業などを通して道徳性を育む学習を充実
 - ・理数教育…観察、実験などにより問題を科学的に解決することや、データを分析し、課題を解決するための統計教育を充実
 - ・伝統や文化に関する教育…わが国や郷土が育んできた日本の伝統や文化を学ぶ機会の充実
- ほかに、「体験学習」「キャリア教育」などがあります。

お父さんが学校で学んだことについて、ご家庭で、ぜひ話してみてください

周りの大人の働きかけが、子どもたちの「生きる力」を育む大きな原動力になります。また、大人の働きかけがある子どもの学力は高い傾向があります。

例えば…□学校や友達のこと、地域や社会の出来事など家庭で会話をする。 □ゲームをする時間を限定する。

□子どもに本や新聞を読むように勧める。

□子どもに最後までやり抜くことの大切さを伝える。

□自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視する。

〔文部科学省：学習指導要領ウェブサイト〕より

問合先 教育委員会事務局学校教育課教育支援グループ ☎84-5076